丸亀高校有名人一覧表

REV.14　2025 年 6 月 30 日
REV.1　2024 年 5 月 31 日

1966 年卒　我部山民樹
（かべやまたみき）

私には情報量が限られている上に、独断と偏重が多々あると思いますが、ご容赦ください。
情報を戴ければ随時追記したいと思っています。　敬称略

卒業年	生年	名前（敬称略）	略歴/出身地/出身大学他
1893（明治26）		**香川県尋常中学校丸亀分校**	創立
1896 転校	1878	尾崎秀南	日本画家（橋本雅邦・横山大観・菱田春草らの日本美術院研究会員、日本絵画協会日本美術院連合絵画共催会等に出品し受賞）、（高松中学に転校）、三原修の叔父/現丸亀市飯山町/
1898		**香川県丸亀尋常中学校**	独立
1899		**香川県丸亀高等女学校**	創立
1901		**香川県立丸亀中学校**	香川県丸亀尋常中学校を改称
	1887	長尾優	教育者（日本医科歯科大学初代学長）/丸亀市/東京帝大卒
1903		高尾直三郎	日立製作所副社長、日立製作所を経営面から支えた日立製作所創業メンバー、著書；『日立とその人々』他/現丸亀市/東京帝大卒
1903		馬場粂夫	日立製作所の専務、日立製作所を技術面から支えた日立製作所創業メンバー/？/東京帝大卒
1905（明治38）	1888	津島寿一	官僚（日銀副総裁、大蔵次官）、政治家（大蔵大臣）、日本体育協会会長、東京五輪の組織委員長、坂出市名誉市民、1965 年新講堂兼体育館竣工の祝賀行事にて『卒業六十年に際し母校を懐（おも）う』を講演/現坂出市/坂出小、第一高等学校、東京帝大卒
1906		宮武貞雄（武藤貞雄）	銀行員（台湾銀行ニューヨーク支店長）、女性として初めて弁護士・判事・裁判所所長となった三淵嘉子の父親/丸亀市/東大卒

1908		香川不抱（香川栄）	明星派詩人（上京して与謝野鉄幹・晶子夫妻に師事。鉄幹から「啄木より勝る」と称賛された才能の持ち主だったが、早世（29 歳））代表作の短歌「吾ここにありぬ　千よろずの　中のひとつの星としりつつ」が刻まれた歌碑が丸亀高校の校庭に建立されている/丸亀市川西/川西尋常小学校,飯山高等小学校
1908		武藤ノブ	女性として初めて弁護士・判事・裁判所所長となった三淵嘉子の母親/丸亀市/
1909		竹田敏彦（敏太郎）	劇作家、直木賞候補の小説家（長篇作家としての地位を確立、「時代の霧」「夢ならぬ恋」「涙の責任」など、多くの作品が映画化）、「子供をよくする会」を設立し、少年少女の救済活動を行う。「丸亀少女の家」を中津公園に建設し、1000 人近い少女を送り出す、著作多数/多度津町/早稲田大学中退
1912（明治 45）	1897	中河幹子（林）	歌人（女性文芸誌『にぎやう』を創刊、教育者（共立女子大教授）、中河与一の妻、著書；夕波、歌集・慈母/坂出市/津田英塾卒
1913		斉田喬	児童劇作家・画家（1948 年児童劇作家協会を設立、委員長となる（のち日本児童演劇協会）。1955 年「斎田喬児童劇選集」で芸能選奨文部大臣賞受賞。児童文学の挿画も描いた。演劇教育研究所理事長、児童演劇協会名誉会長、著書；斎田喬児童劇大鑑』他、丸亀城内に文学碑が建立されている、丸高に絵画『椿』を寄贈/現丸亀市/香川県師範学校、京都高等高原学校卒
1915（大正 5）	1896	戸倉ハル	教育者（お茶の水大学名誉教授、専門分野は女子体育と幼児教育で、「学校ダンスの第一人者」と呼ばれた。レコードなどに残したオリジナルのダンス用の楽曲はおよそ 800 曲に及び、教え子によって広められた戸倉のダンスは日本各地の学校で伝統として継承されている。）/現丸亀市（南村）/東京高等女子師範学校卒
1915	1897	中河与一	小説家（新感覚派の旗手としてモダニズム時代を築く。代表作に『天の夕顔』『失楽の庭』『探美の夜』『古都幻想』など）/現坂出市/早稲田大学卒
	1897	野溝七生子	小説家（山梔（くちなし））/姫路市生れ（丸亀市で育つ）/東洋大学卒
1916	1898	白川一雄	事業家（白川製陶社長）、政治家（参議院議員）/丸亀市/東大卒
1919		入江誠一郎	人事院総裁/？/東京帝大卒
1920（大正 9）		**丸亀高等女学校、サッカー発祥の地とされる**	丸亀市立資料館で 1 枚の写真が台帳とともに発見された。袴姿の乙女たちが、サッカーボールを追いかけている。くすんだ画面からも、彼女たちのはじけるような笑顔がうかがえる。

			大正時代に撮影されたとされるこの写真から、日本の女子サッカーの歴史はそれまでの記録からさらに 40 年以上もさかのぼることがわかり、丸亀は「日本女子サッカー発祥の地」と言われるようになった
1921（大正10）	1902	猪熊弦一郎	洋画家（藤島武二に師事し、マティスの影響を受けた、上野駅中央改札の壁画や三越の包装紙でも有名）、丸高に寄贈した作品のうち本館玄関ホールに「妙義山」が飾られている、また東館「猪熊コーナー」にその他の作品が飾られている、西館 2 階に壁画「風車と太陽」がある/高松市（丸亀市で育つ）/丸亀東幼稚園、東京美術学校（現東京芸術大学）卒
1921	1905	鳴海碧子（久保田静）	記者を経て、戦後に「主婦と生活者勤務、著書；『結婚教育』、『結婚賛歌』、『花ある結婚』他/？/日本女子大卒
1923		草薙金四郎（くさなぎきんしろう）	香川県立高松図書館長、高杉晋作ら幕末の勤王志士と交友のあった琴平の志士・日柳燕石（くさなぎえんせき）研究家、著書；（『日柳燕石伝』、『讃岐の文人』、『金丸座』他）/琴平町/
1923？	1904	岡田實	冶金学者（プラズマ研究や超高電圧電子顕微鏡の開発で大きな業績を残す）、教育者（大阪大学総長）/多度津町/大阪帝大卒
	1904	田村実造	・教育家（京都女子大学長）、著書（『世界史からみた新東洋史』、『中国征服王朝の研究』、『慶陵の壁画 絵画・彫飾・陶磁』、『中国史上の民族移動期 五胡、北魏時代の政治と社会』、『歎異抄を読む』、『アジア史を考える アジア史を構成する四つの歴史世界』、『中国史にみる女性群像』、『慶陵調査紀行』）/京都帝国大卒
	1905	高木孝詮	法学者（八幡大学学長）、著書；法律学原論他/仲多度郡竜川村/九州帝大卒
1924	1907	金子正則	判事、政治家（香川県知事）丸亀市/東大法学部卒
1924		林富美子（大西）	救ライ（ハンセン病）活動家（ハンセン病の公立病院のひとつの大島青松園（高松港外）で活動しさらに韓国救ライ活動も行う、著書；『野に咲くベロニカ』（当時社会の不当な偏見思想のために迫害を受けていたハンセン病患者への救ライ事業のかげに咲いた愛の群像とその回想録）、瀬戸大橋建設の立役者・杉田秀夫は「林富美子先輩は最も尊敬する人物である。人が嫌がること、怖がることに黙々と献身し、孤高の人生を歩む姿に圧倒された、自分もそのような人生を歩みたい。」というようなことを語っていた/？/
1925		近石泰秋	教育者（香川大学教授、同教育学部長）、浄瑠璃研究の第一人者

			で方言の研究者としても知られた。丸高同窓会で『常に行く道』を講演/、丸亀市/東京文理大卒
1926	1908	白川一郎	画家（代表作に『鈴木貫太郎』や『最後の御前会議』がある)、丸高の本館玄関ホールに『犬吠埼（海)』が飾られている、著書；『洋画技法講座（デザイン名作)』他/？/東京美術学校卒
転校	1911	三原修	プロ野球選手（プロ野球選手第 1 号)、野球指導者（ジャイアンツ、西鉄ライオンズや大洋ホエールズ等の監督)、(丸亀中 2 年生の時に官吏になることを望んだ父親の意向で高松中学に転校）/仲多度郡神野村（現まんのう町）/早稲田大学卒
1928		前川忠夫	農学者（香川大学学長)、政治家（香川県知事)、著書『讃岐野』他/三豊市高瀬/旧制山縣高校、東京帝大卒
1929（昭和3 年)	1913	孝壽芳春（こうじゅよしはる）	事業家（日本初の漫画週刊誌『週刊漫画 TIMES』や日本初の青年漫画誌『コミック magazine』等を創刊した芳文社の創業者)/？/京大卒
1929		和田芳夫	女性として初めて弁護士・判事・裁判所所長となった三淵嘉子の最初の夫、東洋モスリン（東洋紡織工業）に勤務/丸亀市/明治大学専門部卒
1931		安藤正瑛	教育者（岡山大教授)、著書『禅と基督教』他、丸高同窓会で『真の自己』を講演/？/京都大学卒
1933	1916	片岡勝太郎	事業家（アルプス電気創業者)、丸高同窓会で「世界の中の日本」を講演/神戸大学卒
1933		天野歓三	NHK 経営委員長/？/東京大学卒
1940		藤村潔	国文学者（専門は中古物語、特に源氏物語)、教育者（藤女子大教授…教え子に中島みゆきがいる)、著書；『源氏物語の研究』他/京城大卒
1941		清水善秋	プロ野球選手（巨人軍の澤村投手の捕手として活躍
1941		塩田弘子	料理研究家（家庭献立で厚生大臣賞を受賞、「NHK いきいき香川のおいしくクッキング」で郷土料理を紹介)、著書；『おそうざい 460 選』/琴平町/女子栄養大学卒
1942（昭和17 年)	1925	斎賀秀夫	国学者、教育者（国立国語研究所名誉所員、大妻女子大学名誉教授)、東京丸高同窓会で『讃岐弁あれこれ』を講演、創立百十周年東京丸高同窓会で『讃岐方言の今昔』を講演、東京丸高同窓会会長/？/東京文理大卒
1943	1925	三木成夫	解剖学者（東京芸術大学教授）/丸亀市/東大卒

1942		谷本喜一	教育者（神戸大学教授）、丸高同窓会で『大学における工学系教育』の演題で講演/京都大学卒
1943		石田薫	東京丸高同窓会で『偉大なる大先輩　猪熊弦一郎画伯を偲んで』を講演/？/
	1929	大藪郁子（齋藤郁子）	脚本家（源氏物語、木枯紋次郎、ハイカラさん、真実一路他）/東京女子大卒
	1930	香川秀光	プロ野球選手（近鉄パールスの投手）/丸亀市/
	1931	西原邦子	詩人（・詩集『屋根が空をささえている』書肆ユリイカ、1960年。装幀には伊達徳夫の切り絵が使われている。・詩集『子音たち』思潮社、1979年。・詩集『砂の戸』思潮社 、1986年）/食料学校卒
1948		**香川県立高等女学校**	香川県丸亀高等女学校を改称
1948		野球部	夏の甲子園出場、1回戦で惜しくも小倉高に1対0で敗れる、その小倉高が優勝
1949（昭和24）		**香川県立第一高等学校**	香川県丸亀第一高等学校を改称し、香川県立高等女学校と統合
1949		大西末廣	政治家（香川県議会議長）/？/
1950（昭和25）		杉田秀夫	旧国鉄、日本鉄道建設公団を経て初代本州四国連絡橋公団坂出工事事務所長に就任し、世紀の難工事と言われた「瀬戸大橋」建設の指揮をとったリーダー。難工事を成功に導き、工事関係者や漁業従事者らの厚い信頼を受け、「男が惚れる男」との異名があったという。一土木工事事務所長でありながら、功績を讃えられ銅像を建てられた人物。公私にわたる建設秘話やその後についてはNHKの『プロジェクトX～挑戦者たち～男たちの不屈のドラマ瀬戸大橋』、書籍やドラマなどでその生き様が紹介されている。 丸亀高等学校創立九六周年記念講演で『瀬戸大橋について』を講演。 香川県立丸亀高等学校生徒会誌SPIRITに「瀬戸大橋架橋工事に携わって」を投稿 /丸亀市/城乾小学校、東大卒
1950		豊田章三	香川県庁から、本州四国連絡橋公団に出向し、初代児島工事事務所長に就任し、瀬戸大橋建設工事に貢献する/京大卒
1950		香川秀満	プロ野球選手（近鉄の投手として活躍）/

1950		新居一仁	プロ野球選手（阪急の捕手として活躍）/
1950		橘節哉	事業家（丸亀市にある中央開発の社長・会長）、丸亀商工会議所会頭/丸亀市/阪大卒
1951		三原憲三	法学者、憲法学者、弁護士、教育者（朝日大学法学部教授・学部長他）、 業績；『誤判と死刑廃止論』他/？/明治大学卒
1952		岸田秀	日本の心理学者・精神分析学者・エッセイスト・翻訳家、和光大学教授、著書；『ものぐさ精神分析』他/善通寺市/早稲田大学卒
1952		太田浩	TBS 報道局長、（株）東通代表取締役、丸高同窓会で『宇宙、湾岸…テレビ報道の内側』を講演/？/一橋大卒
1952		塩飽二郎	農林水産審議官、丸高同窓会で『農業と外交』を講演/？/
1952	1933	有馬真喜子（酒井、谷本）	ジャーナリスト、国連女性機関日本国内委員会理事長、国民生活センター会長他、丸高同窓会で『変化の時代の中で』を講演/呉市/津田塾大卒
1952	1934	丸岡雄道	日本画家（日本の自然を描いた清涼感のある風景画）、2012 年作『讃岐富士雨情』を母校・丸高に寄贈、川崎市持経寺住職/丸亀市/早稲田大学卒
1953（昭和28）		**香川県立丸亀高等学校**	香川県立第一高等学校を改称
1953		大西淳	実業家（四国電力社長）、丸高同窓会で『地域と共に成長・発展する電気事業を目指して』を講演/？/香川大学卒
1953		佐々木正夫	壷井栄文学館長、小中高生対象の壷井栄賞の選考委員、香川菊池寛賞受賞者、著書；讃岐の文学散歩他/？/
1953		北村親夫	プロ野球選手（阪急投手として活躍）
1953		山田一幸	プロ野球選手（阪急の捕手として活躍）
1954	1936	坊上卓郎	東京丸高同窓会元会長、事業家（日本ビクター社長）、丸高同窓会で『21 世紀の担い手に望む－忍耐・勇気・創造－』を講演/？/電気通信大卒
1954		大谷育三	東京丸高同窓会事務局長、イースタントラベルサービス代表/？/
1954		北野昌則	防衛大学校名誉教授、防衛大学校副校長/？/阪大大学院卒
1954		高木謙次	国鉄新幹線総局長、東海キヨスク（株）取締役会長、丸高同窓会で『東海道新幹線』を講演/？/東大卒
1955（昭和30）	1936	鶴岡俊彦	農林官僚（大臣官房長、水産庁長官、食料庁長官、農水省事務次官）、丸高同窓会で『創立百周年によせて』を講演/？/東大卒

1955	1937	大藪雅孝	教育者（東京芸大教授）、画家（描く画題は花鳥、静物、風景、人物また陶芸をも試み画域は多岐にわたる、丸高の本館 3 階に『熊野飛瀧権現』が飾られている、丸高第 1 体育館の緞帳の原画を作成、丸高同窓会で『心のカタチ　美を求めて』を講演/？/東京芸大卒
中退	1937	大豪 若三杉彰晃 （杉山昇）	大相撲力士（最高位は東関脇）/丸亀市土居町/
	1939､3	井下靖央	テレビドラマの演出家（TBS テレビ（旧 TBS エンタテインメント）制作 1 部所属）、東芝日曜劇場や、橋田寿賀子ドラマ『おんなは一生懸命』などを演出家として担当。『パンとあこがれ』や『不ぞろいの林檎たち』など多くの作品でコンビを組んだ脚本家の山田太一は、「テレビ界の五本の指に入る才能」と高く評価していた/早稲田大卒
1956		橋本日出男	日本におけるアフリカ経済の第一人者、大阪大学学部長、丸高同窓会で『開発途上国と日本』を講演/東大卒、イリノイ大学院卒
1956		都築静雄	弁護士、丸高野球部　後援会会長/？/中央大学卒
1957		橋野博	大阪丸高同窓会会長、国際広告社長、丸高同窓会で『あっち、こっち、キャッチ』を講演/？/東京外大卒
1958 （昭和 33 年）		山内繁	工学者、特定非営利活動法人支援技術開発機構理事長（2013 年時点）、工学博士（国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所長他、丸高同窓会総会で講演）/？/東大卒
1958		近藤浩二	教育者（香川大学学長）、(株）レアスウィート取締役、丸高同窓会で『希少糖とは～香川発夢の糖～』を講演/？/京大卒
1959		田中健次	官僚（環境庁事務次官、環境事業団理事長）/？/東大卒
1959		多田羅浩三	教育者（大阪大学医学部教授）、般財団法人 日本公衆衛生協会会長、著書；『英国の病院と医療（共訳）』、丸高同窓会で「今日の健康づくり」を講演/？/阪大卒

1959		秋山賢三	裁判官、弁護士、（冤罪問題の研究者として知られる、誤判・冤罪の防止を信念として抱いており、弁護士を始めてからは刑事の分野で多くの否認事件の弁護に携わった。また、裁判官であった時代から、「疑わしきは被告人の利益に」の原則を忠実に守るように努めてきた）丸高同窓会で『我が国の裁判はどう変わるか』を講演/？/東大卒
1959		高谷秀正	教育者（京都大学工学部教授）、研究者（化学物質の光学異性体のどちらかを優先的に取り出すことを『不斉合成』というが、この研究を 2001 年にノーベル賞を受賞した野依良治教授と一緒に研究していたが、惜しまれることに 1995 年にすでにご逝去されていた）。 　野依良治教授はこの研究で 2001 年のノーベル賞を受賞した。『日経サイエンス』によると、『野依良治教授は有用な化学物質を高い効率で合成する技術に道を開いたことでノーベル化学賞を受賞した。この研究が大きく花開いたのは 1980 年。高谷秀正京大教授（故人）とともに，金属と有機化合物の組み合わせを工夫して「BINAP」という触媒を作りだした。狙った生成物を合成できる割合は当初 80%程度だったが，2 年がかりで 100%まで高めることに成功。これがきっかけになり新たな触媒を次々に開発し，産業応用を目指した研究も広がり始めた』とある。 光学異性体の典型的な例が 1950 年代に睡眠薬として開発された「サリドマイド」である。この物質の右手型は鎮静作用があって有用だが，左手型には奇形を起こす作用がある/？/京大卒？
1960（昭和35）		片山圭之	政治家（丸亀市長、香川県会議員他）/丸亀市/神戸大卒
1960		松田臣平	つくばハンズオンキャピタル（株）執行役員、丸高同窓会で『発明活動と創造的発想法』を講演/？/東大卒
1960		徳山孝	事業家（香川県綾歌郡にある勇心酒造（株）代表取締役）/？/東大卒
1961		大塚功	大蔵官僚（大蔵省、北海道財務局長、大臣官房審議官、外務省在イギリス日本国大使館公使他）/まんのう町/東大卒
1961		吉祥（山内）瑞枝（旧姓；守）	駐日英国大使館科学館、2002 年にサイエンススタジオ・マリーを設立、2020 年に第 45 回日本化学会の化学教育賞を受賞、丸高同窓会で『夢に向かって進もう』を講演、1960 年の第 4 回日本学生科学賞にて『銅アンモニア絹糸の研究』が日本女子代表に選ばれ、渡米し世界最大のコンテストの国際学生科学技術フェアー

			に参加/お茶の水女大卒
	1942	横山正明	機械工学者、教育者（東京工業大学 名誉教授。 元 鶴岡工業高等専門学校校長。元山形県立産業技術短期大学校校長）、元山形県 科学技術会議会長/？/東京工大卒
1962	1943	斎賀富美子	外務省官僚、裁判官（国際刑事裁判所の初代日本人裁判官。女性初の国連大使も務めた、埼玉県副知事、丸高同窓会で演題『女性外交官世界に羽ばたく』を講演、東京丸高同窓会で『国連における日本』を講演）/丸亀市/東京外語大学卒
1962	1944	田尾健二郎	裁判官（高松高等裁判所長官他）、国家公安委員会委員/？/京大卒
1962	1943	村上健一	画家（エバラ画交会に所属し主にエバラ画交会展に作品を出展、2019 年に開催された第 58 回大調和展」にて内閣総理大臣賞を受賞し、その受賞作「光燦々」は母校丸亀高校に寄贈され、本館 4 階に飾られている。 2021 年に銀座アートホールにて「77 歳展」を開催） ・エバラ画交会；1966 年に荏原グループの絵画部として発足し、現在（すでに 2014 年には）会社を離れ同好会として活動 ・大調和展；武者小路実篤が、「自分の個性を生かすのに画を描くことが一番適当だと思う人が、運命を許す限り画を描くこと」に賛成なので、そう言う人にいくらかでも役にたてばと思って始めた公募展。（岸田劉生のために主催したと言われている）/丸亀市/名古屋工大卒
1962	1944	三木敏江	ガラス工芸家（サンドブラストによるガラスアートで独自の華切子、第 20 回伝統工芸諸工芸展にて朝日新聞社賞受賞その他多数入選）/？/
1963		白川進	官僚（資源エネルギー庁基礎産業局長）、東京電力副社長/？/東大卒
1963		隅聡子（安藤）	1962 年の第 6 回日本学生科学賞で『水溶液の体積増加と溶解度』の研究が日本女子代表に選ばれ、渡米し世界最大のコンテストの国際学生科学技術フェアーに参加/？/お茶の水女子大
1964（昭和 39 年）	1945	佐藤勝彦	宇宙物理学者（宇宙の始まりのインフレーション宇宙論の提唱者でノーベル賞候補とされていて宇宙探査機による実証を待っている）、文化功労者（香川県で三人目）、丸高同窓会で『宇宙、自然世界は謎だらけ 好奇心を解き放とう！ - 輝く未来を創るために - 』を講演、東京丸高同窓会で『現代の創成記－物理学の描く宇宙進化論―』を講演）、2023 年に丸高創立百三十記念講演会で「宇宙、自然世界は謎だらけ 好奇心を解き放とう！ - 輝く未

			来を創るために－」を講演/坂出市/坂出付属中学、京都大学卒
1964		鶴野史朗	事業家（投資家向け広報のアイ・アールジャパンホールディング創業者）、日本 IR プランナーズ協会理事長他/？/一橋大卒
1965	1946	則久芳行	事業家（三井住友建設代表取締役社長）/善通寺市/神戸大学卒
1965		塩江宏三	京都市立芸術大学学長、丸高同窓会で『西洋美術逍遥』を講演/？/京大卒
1966（昭和41 年）	1947	竹林卓	事業家・小説家 （著述家（株）リテラクラフト代表　新潮社の元編集者。翻訳家として訳書多数。また、ジャーナリスト 大江 舜として「新潮 45」などで活躍、著書；『日本人になったユダヤ人』他、1995 年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受章）/丸亀市/慶応大学卒
1966		島田和幸	医学博士（地方独立行政法人 新小山市民病院 理事長／病院長、自治医科大学 名誉教授他、日本高血圧学会理事長）、NHK に出演等、丸高東京同窓会で『循環器医療の今日と明日』を講演）、著書；『血管を内側から強くする 55 の秘訣』(2014 年　宝島社) 『体が若返る！ 病気にならない「強い血管」の作り方（別冊宝島)』(2012 年　宝島社) 『血管を鍛える　食べ物と運動』(2012 年　宝島新書) 『内皮細胞が活性化する食習慣で一生切れない、詰まらない「強い血管」をつくる本』(2011 年　永岡書店)/三豊市/高瀬中学、東大卒
1966		小山敬治	事業家（神戸製鋼所副社長）/丸亀市/丸亀西中、東京大学卒
1966	1947	加藤繁秋	政治家（衆議院議員）/？/
1966		山本直樹	政治家（香川県会議員、丸亀市会議員）/丸亀市/丸亀西中、早稲田大学卒
1966		尾藤廣喜	官僚（厚生省）、弁護士（日弁連貧困問題対策本部　副本部長、生活保護問題対策全国会議　代表幹事、全国生活保護裁判連絡会代表委員）/？/京都大学卒
1966		平岡政典	政治家（善通寺市長）/善通寺市/立教大学卒
1966 卒の同期生（　転校）	1947	多田羅迪夫（豊田）	声楽家（バリトン、バスバリトン、ハイデンブルク市立劇場専属歌手他）・オペラ歌手・公演監督・指揮者・音楽教育者、在学中に安宅賞受賞，ジーリ国際声楽コンクール第 4 位他/坂出市/坂出高校、東京芸大卒 2 年生から坂出高校に転校
1966		町田マキヨ	東大工学部を卒業後結婚し普通の主婦として二人の子育てをす

		（鈴江）	る。学生時代のルームメイトが一年おきに、また隣の若い奥さんが癌で亡くなっていくという辛い経験をし、生命への不安と焦りにおののく毎日が続き、居たたれない思いで横浜市立大学医学部に進学。医者として 14 年遅れのスタートながら「町田内視鏡クリニック」を瀬谷で立ち上げ、松井宏夫著「この病気にこの名医」に『大腸がん（内視鏡）の名医』としてリストアップされている。 消化器内視鏡学会　専門医指導医、消化器内視鏡学会元学術評議員、共著；「内視鏡所見からみた鑑別診断」/？/東大工学部、横浜市立大学医学部卒
1966		大前宏一	短距離走者（当時の陸上 100mの中学新記録保持者、1964 年全国高校総体陸上 100m競技で 10 秒 9 の記録で優勝)、1964 年オリンピック聖火リレー正走者として高松市役所から宇高フェリー乗り場までの 1.1 キロをリレーし、岡山県に引き継ぐ/？/和光中学、関西学院大卒
1966		繁本瑞世	1964 年の第 8 回日本学生科学賞にて『沈殿法による酸化鉛の生成の研究』が代表作品に選ばれ、日本女子代表として渡米し世界最大のコンテストの国際学生科学技術フェアー—に参加/？/
1966		奥田孝子	1965 年の第 9 回日本学生科学賞にて『金属鏡について』の研究が代表作品に選ばれ、日本女子代表として渡米し世界最大のコンテストの国際学生科学技術フェアー—に参加/丸亀市/丸亀西中、千葉大（医学部）卒
1967		安達哲治	バレエ洋舞家、バレエ振付家・指導者（京都バレエ専門学校教授)、文化庁芸術祭賞他を受賞、丸亀市文化観光大使/丸亀市/同志社大卒
1967		塩田咲子	教育者（高崎経済大学教授、東京丸高同窓会で『21 世紀高齢化社会に向けて』を講演）/？/一橋大学卒
1967		小野公二	京都大学原子炉実験所・粒子線腫瘍学センター長、丸高同窓会で『中性子に魅せられて 20 年』を講演/？/京都大学卒
1968	1949	峰久幸義	行政官（国交省事務次官、復興庁事務次官、内閣官房参与)、創立百二十周年記念式典で記念講演/三豊市/東京大学卒
1968		武田宗高	内閣府、大蔵官僚（大蔵省、関東税務局長、内閣審議官他)、JT 副社長/仲多度郡/東京大学卒
1968		山神進	官僚（法務省高松入国官理局長他)、教育者（立命館大教授、東京丸高同窓会で『出入国管理の現況と課題』を講演）/？/東大卒
1968		神余隆博	国際政治学者（『国際危機と日本外交』他)、外交官（ドイツ 駐劄 特命全権大使他)、教育者（大阪大学教授、関西学院大学副学長他)、丸高同窓会で『これからの日本を考える - 丸高生に期待

			すること - 』を講演/琴平町/阪大卒
1968		香川正之	大阪丸高同窓会前会長、医師（歯科医院院長）、大阪丸高同窓会で『健康長寿は咬み合わせから』を講演、香賀まさしの名でシャンソン歌手・葉月ルミの『時は静かに流れてゆく』を作詞/？/大阪歯大卒
1968		清水利夫	医師（国立国際医療センター副院長、新座市にある堀ノ内病院院長）、論文 ;「ラット胃癌細胞を用いた転移機構の解析 : 自然肺転移モデルの確立」他、丸高同窓会総会で講演/東大卒
1968		福田典幸	作陶家（陶房セラカフェ　ゴッテ主宰、夫婦で各所にて作陶展を開催）/？/神戸大学卒
1968		伏見豊	事業家（丸亀市にある株式会社伏見製薬所代表取締役）/丸亀市/京大卒
1969	1950	濱田博司	生物学者、医学者（左右軸を中心とした哺乳動物胚発生の分子制御機構で慶應医学賞を受賞、瑞宝中綬章）、大学教授/善通寺市/岡山大学卒
1969		森末由文	音楽家（東京フィルハーモ二―交響楽団首席奏者、関西フィルハーモ二―管弦楽団首席奏者、テレビやラジオに多数出演し、2013 年の母校創立 120 周年記念コンサートで共演（サントリーホールにて令嬢の森末夢美（「高嶋ちさ子 12 人のバイオリニスト」他」と森末麗美（森末音楽教室主催他）と共に丸高吹奏楽部とコンサートで共演）/？/国立音大卒
1969		渡辺志伸	気象庁、東京丸高同窓会で『天気予報の上手な利用』を講演）/？/気象大学校卒
1969		堀家正則	建築防災工学者・地震工学者、大阪工大教授、大阪丸高同窓会で『必ず来る！関西の大地震』を講演/？/京都大学卒
1969		川向正人	現代建築都市計画者（東京理科大学理工学部建築学科教授東京理科大学・小布施町まちづくり研究所所長）/？/東大卒
1970（昭和 45）		山下哲生	東京丸高同窓会会長、事業家（日本アジアグループ代表取締役会長、株式会社 SOLABLE 代表取締役、丸高同窓会で『未来を見据えて』を講演、東京丸高会で『アジアの未来・日本の未来』を講演）/丸亀市/慶応大学卒
1970		我部山キヨ子	助産学者（京都大学教授他、日本助産婦教育協会副会長、日本助産学会賞功労賞受賞）、京都大学付属病院で「女性のこころと身体の相談室」を開設、また助産師・看護学生と共に中学校や高等学校で出前授業を行って、思春期の健康教育の推進に尽力、第 22 回日本家族計画協会松本賞、日本助産学会賞功労賞を受賞、著書 ;『助産婦のためのフィジカルイグザミネーション』他/善通

			寺市/東京大学付属助産婦学校、奈良女子大大学院卒
1970		富田恭彦	哲学者（『ロック哲学の隠された論理』他の業績）、京都大学教授、ハーバード大学客員研究員/？/京大卒
1970		山内孝茂	丸亀高校同窓会会長、株式会社モンテサービス社長/？/関大卒
1970		山地秀俊	会計学者（情報 ディスクロージャー 論・ 会計学）、教育者（神戸大教授・研究所長他）、日本会計研究学会太田賞「会計情報公開制度の実証的研究」/？/関西学院大卒（神戸大学博士課程）
1970		藤田博美	北海道大学大学院教授、丸高同窓会で『落ちこぼれるということ』を講演/？/京大卒
1970		田辺孝二	1975 年 - 2003 年 経済産業省（通商産業省）に勤務、技術政策、情報化行政、アジア協力、統計行政等に従事。2005 年 - 2017 年 東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授。 イノベーション、標準化戦略、未来創造思考などを研究・教育。広島大学客員教授、イントロン・スペース株式会社取締役、ビジネスモデル学会理事などを兼務/？/京大卒
1971		村井良行	事業家（日本たばこ産業（株）常務取締役）/多度津町/多度津小学校、多度津中学校、東大卒
1971（昭和 46 年）	1952	井上隆史	NHK プロデュゥサー（NHK スペシャル四大文明他）、東京芸術大学特任教授、丸高同窓会で『遥かなる草原の国モンゴル』を講演、東京丸高同窓会で『古代文明・その風土と魅力』を講演/？/早稲田大卒
1971		白川琢磨	人文社会/宗教学者（福岡大教授他）、 弥谷寺の信仰と民俗. 香川県「四国八十八箇所霊場と遍路道」調査報告書他、郷土にまつわる歴史講座「坊主憎けりゃ袈裟まで憎い？！」/？/慶応大学卒
1971		松井秀樹	教育者（岡山大学医学部部長）、丸高同窓会で『新しい治療法を求めて』を講演/？/岡山大卒
1972	1953	高橋恵子（山田）	高校教諭、陸上競技の短距離走選手（高校 1 年生時の 1969 年インターハイで 100 メートルと 200 メートルの 2 冠を達成。3 年生時の 1971 年にも再びインターハイで 100 メートルと 200 メートルの 2 冠を達成し、この大会で丸亀高校は学校対抗（女子）で総合優勝した。 日本陸上競技選手権大会では 1970 年、高校 2 年生のときに 100 メートルと 200 メートルの 2 冠を達成。翌 1971 年にも 2 年連続で 100 メートルと 200 メートルの 2 冠を達成。その後、100 メートルは 1973 まで優勝して 4 連覇を達成。1978 年にも優勝し、優

			勝回数は計 5 回。200 メートルは 1974 年にも優勝し、優勝回数は計 3 回。 アジア大会には高校 2 年で日本選手権初優勝をした 1970 年に開催されたバンコクアジア大会で初出場し、100 メートルは 12 秒 1 で銀メダルを得る。200 メートルでは 25 秒 0 で金メダルを獲得した。4 年後、1974 年のテヘランアジア大会にも出場し、100 メートルにおいて 12 秒 42 で銅メダルを獲得している。 国民体育大会には 1969 年から 1978 年まで出場し、高校と一般の 100 メートルで計 9 回優勝している）/高松市国分寺町/日本体育大学卒
1972		阪本和道	官僚（総務省大臣官房審議官、大臣官房長、内閣府審議官）/？/一橋大卒
1972		竹原啓二	事業家（株式会社リクルート常務、フューチュアー・デザイン・ラボ株式会社代表取締役会長）、大阪丸高同窓会で『おもっしょい会社「リクルートの DNA」』を講演/坂出市/岡山大卒
1973（昭和 48 年）		真鍋昇	教育者（東京大学教授、京都大学准教授、大阪国際大学教授）、研究者（畜産学）、2016 年の丸亀高校創立記念講演で「動物と人間との共通伝染病の統御：新たに開発した技術」を講演/？/京大卒
1973		中川光弘	教育者（茨城大学名誉教授、同農学部環境科学科長、東京日野国際学院副校長）、研究者（ 農学博士、途上国の農業政策に関する研究 他）、NPO 農業とみどり研究所所長、丸高野球部に在籍/坂出市/坂出付属中学、東大卒
1973		高橋京子（長江）	教育者（大阪大学教授）、研究者（和漢薬学）、大阪丸高同窓会で講演/？/富山大卒
1973		島田政信	工学博士（JAXA 宇宙航空研究開発機構、地球観測研究センター）、東京電機大学特任教授、丸高同窓会で「人口衛生搭載レーダーを用いた世界の森林監視」を講演/？/京大卒
1973		戸山俊樹	教育者（愛知県立芸術大学学長）、声楽家（1982 年日本音楽コンクール第 2 位、海外派遣コンクール松下賞受賞。1983 年ジュネーヴ国際音楽コンクール銅賞。1992 年ジロー・オペラ賞受賞）/坂出市/東京芸大大学院卒
1974		平田照二	研究者、教育者（、ソニーの研究者、横浜国立大や東京工業大の講師他、東京丸高会で『光を旅する（プレステ用レーザーの開発物語）』を講演）/？/東京工業大卒

1974		臼杵尚志	香川大学医学部付属病院手術部長、山岳診療委員長）長年携わっている山岳医療ボランティア活動が評価され、第 49 回社会貢献者表彰を受賞。丸高同窓会で『支えること、そして支えられること－山岳診療の体験より－』を講演、大阪丸高同窓会で『山と人に魅せられて』を講演/？/岡山大卒
1975（昭和50 年）		中井今日子	アナウンサー（瀬戸内放送、エフエム香川）、創立百三十周年記念丸高同窓会総会で中野美奈子と共に『子育てと仕事、故郷への思いを語る』で講演/？/津田塾大卒
1975		白川慎爾	医師（秋山眼科医院、東京丸高同窓会で『『患者と医者の上手な接し方』を講演』/？/北里大卒
1975		木下和洋	事業家（高松市にあるアオイ電子（株）代表取締役社長）、野球部に在籍/？/中央大卒
1975		吉原良一	事業家（坂出市にある吉原食糧株式会社代表取締役社長）/？/広島大卒
1976	1957	磯崎仁彦	政治家（参議院議員、内閣官房副長官）/丸亀市/東京大卒
	1957	吉川洋一郎	作曲家・編曲家・映像プロデュッサー、（筑波大学在学中より舞踏グループ「山海塾」の活動に参加し、ワールドツアーをスタート。以来 40 年以上、山海塾全作品の音楽制作にかかわる。NHK 特集『地球大紀行』などの報道スペシャル番組、NHK テレビアニメシリーズの音楽も制作）、東京丸高同窓会で『音楽家が語る名丸高校歌物語』を講演）/坂出市/筑波大学卒
1976		河田雅圭	生物学者（農学博士、日本進化学会賞他受賞、『進化論の見方』他）、教育者（東北大学教授他）/坂出市/帯広畜産大学卒
1976		泉正宏	大阪丸高同窓会会長、事業家（株式会社 ヒューマンインターフェーステクノロジー代表取締役）/？/竜谷大卒
1976		川口章	教育者（同志社大学教授）、大阪丸高同窓会で『ラグビーを観にいこう』を講演/京都大卒
1977	1958	佐藤誠治	銀行家（東京スター銀行頭取）/？/早稲田大卒
1977	1958	西村奈歩（大西直子）	東京丸高同窓会のアンカー、俳優、アナウンサー、香川言葉指導者（プロダクション・タンク所属）/丸亀市/日本大学芸術部卒
1977		坂田梁山（坂田雅一）	尺八奏者（テレビ、ラジオ、ミュージカル、コンサート等で活躍、東京丸高同窓会で『尺八・現代に生きる』を演奏）/？/神戸大卒
1977		櫛田誠希	銀行家（日本銀行理事（香川県で二人目の理事）、日本証券金融（株）社長）/善通寺市/東大卒
1977		毛利信作	教育者（広島大学院教授、グローバル時代の食品ビジネス，商社のビジネスモデルの変遷と海外での食料ビジネスの展開，海外食料ビジネスとアメリカスナック市場への挑戦）、大阪丸高同窓会

			で『アメリカに日本の“米”文化を広めた 12 年間の挑戦』、『アメリカの光と影』を講演/？/京都大卒
1977		西谷佳織	声楽家（オペラ「フィガロの結婚」マルチェリーナ等、加古川シティオペラ会員他）、大阪丸高同窓会で独唱/？/武蔵野音大卒
1978		釜野真宏	事業家（ジェット証券（株）代表取締役社長、東京丸高同窓会で『ライフサイクルと資産運用』を講演）/善通寺市/東京大卒
1978		日浦深雪（大津山）	事業家（塩野義製薬執行役員）、大阪市環境審議会の公募委員/？/京大卒
1978		細谷誠	事業家（丸亀市にある大西食品株式会社社長）/？/早稲田大卒
1978	1959	大西秀人	総務官僚、政治家（高松市長）/丸亀市飯山町/東大卒
1979（昭和54 年）	1960	廣谷鏡子	小説家（「その如月の望月のころ」（「不随の家」と改題）で第 19 回すばる文学賞受賞、1997 年、「げつようびのこども」で第 118 回芥川賞候補）、丸亀市文化観光大使、東京丸高同窓会で『小説家という生き方』を講演、2021 年に丸高創立記念講演会で「夢はかなう、あきらめさえしなければ」を講演/丸亀市/早稲田大卒
1979	1960	松永恭二	政治家（丸亀市長、丸亀市会議員）/丸亀市川西町/神戸学院大卒
1979	1960	大熊右泰	東京丸高会会長、セイコーグループ（株）専務取締役、セイコーインスツル（株）副社長/？/上智大卒
1979		山下仁司	教育者（大阪大学 スチューデント・ライフサイクルサポートセンター教授(副センター長)）、大阪丸高同窓会で『変わる大学入試と日本の教育現場の現状』を講演/？/大阪大卒
1979		横田真二	総務官僚（総務省内閣官房長、消防庁長官）/三豊市/東大卒
1980（昭和55）		大黒岳彦	教育者（明治大学教授、情報コミュニケーション学、東京丸高同窓会で『情報社会のこれから』を講演）/？/東京大学卒
1980		満田康弘	瀬戸内放送報道制作部門グループリーダー（ウナギにまつわる様々な謎を追った「うなぎのしっぽ、捕まえた！？」で日本民間放送連盟賞受賞など、ドキュメンタリー番組で受賞多数）、映画監督（クワイ河に虹をかける橋）、大阪丸高同窓会で『長瀬隆氏の半生とヒュウマニズムについて』を講演/多度津町/京大卒
1980		三野眞理（kenudson）	教育者(ハーバード大学医学部病理学教授)/？/丸高同窓会で『夢を叶えるために - 日本とアメリカにおける私の医師としての軌跡 - 』を講演/？/京大卒
1981		北村卓三	NHK 番組プロデュッサー（「にっぽん縦断こころ旅」、「フランケンシュタインの誘惑　科学史闇の事件簿」他、東京丸高同窓会で「『テレビ屋』のミッション」を講演）/？/早稲田大卒

1981		須崎嘉文	教育者（香川大学創造工学部教授)、大阪丸高同窓会で『薄膜工学専攻の大工学院生が生んだノーベル物理学賞』（青色 LED）を講演/？/大阪大卒
1982（昭和57年）	1963	村岡由佳（明樹由佳）（猪熊由佳）	女優（劇団四季に入団し『Cats』『コーラスライン』『ウエストサイドストーリー』などの舞台に立つ。退団後 1994 年に演劇集団に入団し活躍中、東京丸高同窓会で『おどって　うたって　ころんで　おきて～自分らしく生きる～』を講演）/？/横浜国立大卒
1982	1963	新川浩嗣	財務官僚（第 19 代財務省事務次官）/？/東大卒 精鋭ぞろいの財務省内でも「切れ者」と目されてきた。周囲はその人柄を「明るい」と口をそろえる。語り口は当意即妙で、歯切れがいいとされる。 2024 年 9 月 17 日、丸亀高校で「日本の経済・財政について」を講演
1983	1964	中村光一	ゲームクリエイター(高校生の頃から天才プログラマーと呼ばれていた、21 歳のときにドラゴンクエストを発表)、事業家（株式会社スパイク・チュンソフト代表取締役社長)、2024 年に丸亀高校創立記念講演会で「AI 人類史上最も厳しい人生を歩むキミたちへ」を講演、タレントの松本明子は従妹/？/電気通信大学短期大学部卒
1984	1965	瀬戸隆一	政治家（衆議員議員)、東京丸高同窓会で『巨大地震に備えてー東日本大地震の経験よりー』を講演/坂出市/大坂府立大学卒
1984		上代真希	NHK 専属のフリーアナウンサー（笑ってうたってしあわせ家族、NHKBS ニュース他）/？/香川大卒
1984		笠井由香	大阪丸高同窓会で声楽家・西谷佳織のピアノ伴奏、ヤマハ音楽教室ピアノ講師、JEUGIA カルチャーセ ンターピアノ講師 /武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科 ピアノ専攻卒業
1985（昭和60）	1966	山下昭史	政治家（三豊市長)、瀬戸内放送/三豊市高瀬町/國學院大卒
1985	1966	堤雅基	国立極地研究所教授（第 60 次南極地域観測隊隊長、東京丸高同窓会で『南極最大の大気レーダーで探る地球をめぐる風』を講演）/？/京大卒
1985	1966	吉川元	政治家（衆議員議員）/丸亀市/神戸大卒
1985		森匡史	銀行家（百十四銀行頭取)、丸高創立記念講演会で「地方銀行って面白い」を講演/多度津町/慶應大学卒
1986	1967	松村福広	医学博士（自治医科大学整形外科病棟医長他、東京丸高同窓会で

			『【骨折】治すのって簡単？』）を講演/？/自治医科大卒
1987	1968	大野敬太郎	政治家（衆議院議員、内閣府副大臣））/丸亀市/東京工業大学卒
1987		竹安正則	工学博士（日本原子力開発機構福島研究開発機構環境安全センターで放射線環境に関する研究、東京丸高同窓会で『福島第１原発事故による周辺影響の現状』を講演）/？/東北大学卒
1988（昭和63）		加古さおり（大平）	ごはんのおいしさ開発の技術者（パナソニック（株）炊飯器事業部の愛称「ライスレディ」、東京丸高同窓会で『一粒のおいしさを求めて～パラソニック　Wおどり炊き炊飯器開発秘話』を講演）/？/お茶の水女子大卒
1988		若松幸司	アマチュア野球選手（投手、高校時代は県大会で準優勝し四国大会に進む、慶応時代は６大学野球でノーヒットノーランを達成、大学４年時は春秋連覇、社会人野球で活躍）/？/慶応大学卒
1988		山下恭司	東京丸高同窓会事務局長/？/日本大学卒
1989（平成元年）	1970	梅木佳子（田村）	四国学院大他講師、合同会社 K‐works 代表、映画監督（自主映画製作に取り込み国内外の映画祭で高評価）、東京丸高同窓会で『地域活性化と映画と私』を講演）/？/日本大学芸術学部卒
1989		長尾健司	野球指導者（高松商業野球部監督、2015 年秋、高松商にとって 26 年ぶりの秋季四国大会優勝と、香川県勢初の明治神宮大会優勝を達成。翌 2016 年春、高松商にとって 20 年ぶりに出場となった第 88 回選抜大会でチームを 1961 年以来 55 年ぶりの準優勝に導いた）、ヤクルトスワローズの松本直樹、広島東洋カープの末包昇大や読売巨人軍の浅野翔吾などを指導/丸亀市/坂出付属中学、順天堂大卒
1990		野球部	夏の甲子園出場（3 回戦で平安高を延長 14 回に 1 対 0 で破りベスト 8 に進出、惜しくも準々決勝で天理高に敗れる、国体に出場し三位）
1990	1970	高田明	教育者（京都大学教授、日本文化人類学会や日本アフリカ学会等に所属し、南部アフリカや日本において(1)養育者‐子ども間相互行為における言語社会化；(2)環境の知覚と道探索実践；(3)コンタクトゾーンにおけるエスニシティの変容；(4)在来社会の再編におけるキリスト教と西欧型教育の影響；(5)マイクロ・ハビタットとハビトゥスの相互構築に取り組んでいる、東京丸高同窓会で『人類から考える子育て：南部アフリカのサン（ブシュマン）の調査から』を講演）/？/京都大学卒
1990	1971	木村光宏	ボートレーサー（幼少期の苦難を乗り越え、学業とボートレースのトレーニングを両立し、競艇選手となり 2016 年には通算 2000

			勝の偉業を達成）/？/
1991（平成3年）		北山友亮	（株）インプットビジョン所属、フジテレビの番組演出（『潜在能力テスト』、『最強 FBI 緊急捜査 PR』や番組制作のデイクターレクターとして『しくじり先生』を担当。2021 年の『‘90 夏　伝説の甲子園ベスト 8 の舞台裏』の番組を企画・制作/？/関西大卒
1992	1973	前田信弘	プロサッカー選手（ヴェルディ川崎他）、サッカー指導者（なでしこジャパンの GK コーチ時の 2011 年ワールドカップ優勝、2012 年ロンドンオリンピック銀メダル、新潟医療福祉大学女子サッカー部監督）、東京丸高同窓会で『なでしこジャパンＧＫコーチ、ワールドカップ優勝を語る』を講演、丸高同窓会で『目標に向かって‐なでしこの取り組み‐』を講演/丸亀市/飯野小、丸亀東中学、同志社大卒
1993（平成5）	1975	松尾豊	工学者（東京大学大学院特任教授、日本の人工知能の第一人者、日本ディープラーニング協会理事長、内閣府「ＡＩ戦略会議」の座長）、東京丸高同窓会で『人口知能の現状と未来』を講演、丸高同窓会で『人口知能は人間を超えるかーディープラーニングの先にあるもの‐』を講演、丸亀高校にて講演、オンライン講座の聴講生は中学生や高校生を含めて 1 万人ほどを数える（エンジン 01 にて）/坂出市/坂出付属中学、東京大学卒
1994		原利彦	編集者・プロデュュッサー（博報堂ケトル執行役員、STOVE 統括プロデュッサ―COO、本屋大賞の運営担当、ラジオやテレビに出演）、東京丸高同窓会で『ぼくが丸高を出て本屋のオヤジになった理由～「本屋大賞」20 周年を迎えて～』を講演/？/京都大学卒
1995		成行書史	富士フィルムのメディカルシステム事業部 IT ソリュ―ション部長、2025 年の東京丸高同窓会で「医療と AI～フィルム会社からヘルスケア企業への転身～」を講演予定/？/東京大学卒
1995		桑嶋裕二	教諭、野球指導者（三本松高校野球部監督、津田高校野球部監督、丸亀高校野球部監督、香川県高等学校野球連盟理事長他）、三本松高校時代の 2017 年春の県大会で優勝に導く。丸亀高校の監督時代には県大会の優勝を逸するが、オリックス入団の東山玲士投手を育てる/？/坂出付属中学、名古屋大学卒
1996	**記念館が有形文化財に**		丸亀高校記念館は、文明開化の明治の面影を今に残す洋風建築で明治二十六年（1893 年）に竣工され、文化庁がこの年に施行した「文化財登録制度」が初めて適用された香川県下第一号の有形文化財。 木造 2 階建、瓦葺、建築面積 696 平方メートル
1996		山本雄一郎	教諭、野球指導者（丸亀高校野球部監督他）丸亀高校時代の 2010

			年の春、201 年の夏、2012 年の夏と 3 年連続 3 回、県大会の決勝で敗れるが、2013 年の夏に県大会で優勝し、母校を甲子園に導く。惜しくも横浜高に初戦で敗れる/多度津町/坂出付属中学、大阪大学卒
1997		入江亜季	漫画家（代表作；『北北西に曇と往け』は韓国やイタリア等世界中で翻訳され出版されている、その他『群青学舎』、『乱と灰色の世界』）/丸亀市/埼玉大学卒
1998		**吹奏楽部全日本コンクールに出場**	第 46 回全日本吹奏楽コンコールに出場、初めての全日本
1998（平成10）	1979	中野美奈子	東京丸高同窓会の元アンカー、フジテレビアナウンサー、丸亀市文化観光大使、丸高創立百三十周年記念丸高同窓会総会で中井今日子と共に『子育てと仕事、故郷への思いを語る』を講演/丸亀市/坂出付属中学、慶応大学卒
2000	1981	横山英幸	政治家（大阪市長）/三豊市/関西学院大学卒
2000		野球部	春の甲子園；1 回戦で智弁和歌山高に敗れる 夏の甲子園；1 回戦で宇都宮学園高（現文星芸大付属高）に敗れる
	1982	鮎川颯（あゆかわそう）、（前川鮎子）	小説家・推理作家（‘鮎川はぎの’名義の「横柄巫女と宰相陛下」が第 2 回小学館ライトノベル大賞〈ルルル文庫部門〉期待賞を受賞、小説家としてデビューを果たす。‘高瀬ゆのか’名義で少女向け漫画（およびその映画版）のノベライズを出している。女性小説家・萩野瑛との共同ペンネームの降田天、ふるたてん）名義の「女王はかえらない」で第 13 回『このミステリーがすごい！』大賞（宝島社）主催の大賞を受賞、「偽りの春」で第 71 回日本推理作家協会賞受賞）/三豊市三野町/早稲田大学卒
2001		杉吉勇輝	教諭、野球指導者（小豆島高校野球部監督として 2016 年に全国高校野球選抜大会出場に導く、2024 年に丸亀高校野球部監督に就任）、2000 年に春夏連続で甲子園に出場した時の副キャップテン/？/慶応大学卒
2003		**創立 110 周年記念行事**	・百十周年記念誌『亀城のほとり』を発刊
2003		演劇部、日本一に	第 27 回全国高等学校総合文化祭演劇部門で最優秀賞にあたる文部科学大臣奨励賞を獲得。現 3 年生の佐藤奈苗創作の『どよ雨（う）びは晴れ』を上演（劇中テーマソングも友人に作詞作曲してもらう）、県大会では創作脚本賞奨励賞を受賞。

2006？	1988	漆原輝	NHK アナウンサー（ニュースウオッチ 9、NHK ニュースおはよう日本、ゆう 6 かがわ他）/丸亀市/早稲田大学卒
2006（平成 18 年)		吉田靖直	4 人組ロックバンド・トリプルファイヤー（*Triple Fire*）のボーカル。『タモリ倶楽部他』のバラエティにも出演、脚本（泳げ！ニシキゴイ）も手がける/？/
2006		池内恵那	「第 18 回青少年読書感想文全国コンクール（毎日新聞主催）」において『私は小さな哲学者』で毎日新聞社賞を受賞/？/
2007		蓮井翔	博士(大阪公立大学大学院理学研究科准教授)、論文;「Tverberg's theorem for cell complexes」他、 2022 年に丸高創立記念講演会で『数学者になる生き方とは』を講演/？/京都大学卒
	1990	水野瑠見	小説家（『十四歳日和』で 2018 年の第 59 回講談社児童文学新人賞を受賞、その受賞作に加筆してデビュー作として『十四歳日和』を発刊)、その著書の紹介文には「2019 年 8 月 30 日· 丸亀高校 OG の作家・水野瑠見さんのデビュー作『十四歳日和』が、8 月 22 日に講談社から出版されています。とある田舎町の中学 2 年のクラスメートたちを描いた群像劇で、子どもでもなければ大人でもない、思春期の少年少女たちの揺れ動く心理描写を通して、彼らの成長と葛藤を鮮やかに活写している作品です。」とある/三豊市/関西大学、大阪文学学校卒
2009		森里文哉	「第 2 回国際地学オリンピック」日本選抜で最優秀賞を受賞し、日本代表として「第 2 回国際オリンピック」に出場し、銀メダルを獲得、筆記・実技試験はケソンのフィリピン大学で、フィールドワークは場所を移して、マヨン火山麓のレガシピで行われた/？/
2009		柳谷昌志	全国高校生創作コンテストの現代詩部門にて作品『犀』が最優秀賞に輝く、これは十篇から成る『生き物詩集』のうちの一篇/？/
2010？		聖真一郎	プロフェッショナル翻訳家、通訳者、アマチュア・アスリート、ジャーナリスト、自然科学（とりわけ宇宙論、量子論・量子コンピュータ、希少糖など）の研究者、一般社団法人科学技術翻訳通訳・科学研究国際機構理事長/？/慶應大学卒
2010		澄川織恵	「第 7 回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞」で、『ラッカセイの中にある「時刻を知る仕組み」』の研究で最高位である大賞を受賞/？/
2011？	1993	松本直樹	プロ野球選手（遠投 120mの強肩捕手、社会人野球西濃運輸を経てヤクルトスワローズに入団し 2024 年には 60 試合に出場、背番

			号 32)、中学時代は四国大会で準優勝、高校時代に四国大会に出場/坂出市/坂出付属中学、立教大学卒
2012？ 中退		春矢裕璃 （はるやゆうり） （東原美春）	宝塚歌劇団花組男役（2013 年～2023 年間在籍、初舞台『ベルサイユの花』、『うたかたの恋』では、「ザッシェルの店」の支配人を演じる）/仲多度郡/宝塚音楽学校
2013		**創立 120 周年記念行事**	・百二十年記念誌『亀城のほとり』を発刊 ・東京丸高会ではサントリーホール・石垣記念ホールにてコンサートを開催 出演；1969 年卒・森末由文と令嬢の森末夢美と森末麗美 丸高吹奏楽部（指揮；船橋康志） 脚本；廣谷鏡子 アンカー；西村奈歩
2013		野球部	夏の甲子園出場 初戦で横浜高に敗れる（監督；山本雄一郎、部長；松田進、主将；車谷康太、エース；左腕宮崎幸大）
2016	1998,3	富士原圭希	アナウンサー（RKB 毎日放送）、RKB　NEWS、タダイマ！、THE　TIME 他？/野田市/早稲田大学卒
2017		**本館・体育館落成記念及び体育館緞帳披露式**	丸亀高校本館校舎・体育館落成記念式典及び創立百二十周年記念緞帳（どんちょう、原画；大藪雅孝画伯）披露式を開催
2017		中村日向	香川支部のボートレーサー（持ち味はターンのキレ。それもスピードを落とさない全速旋回が自在にできる点にあり、地元だけでなく、すべての若手一等星として、ファンの期待を寄せている）、2024 年現在で優勝回数 4 回、2025 年 5 月のデイリースポーツの記事には「地元でＳＧ初勝利を目指す中村日向、元プロ野球監督の故・三原脩氏や、中野美奈子アナウンサーを輩出した偏差値 69 の名門・丸亀高校出身」とある/？/
2018 （平成 30）		演劇部、日本一に	全国の高校生 2 万人が集う「第 42 回高等学校全国総合文化祭」で上演した演劇部の女子サッカー発祥にまつわるオリジナル作品「フートボールの時間」（長井ゆい部長以下）が最優秀賞受賞。後、映画化や舞台の全国ツワーにつながる。 そのストーリーは 「時は大正 9 年（1920 年）。丸亀高等女学校（現・丸亀高校）では明治時代からフートボール（サッカー）が取り入れられ、佐登子と智恵は毎日飽きもせずボールを追いかけた。そんな 2 人にあこが

			れたアサノが仲間になったのをきっかけに、もっと有志を増やしてゲームをやろうと乙女たちは奮闘する。「女性が足を広げてボールを蹴る」、そんなことが当たり前ではなかった時代を生きた乙女たちの、楽しくも少し切ない物語です。[国立劇場公演プログラムより]」
2018	2000.1	花車優	水泳選手（200m 平泳ぎ、2022 年世界水泳選手権の銀メダリスト、2024 年パリオリンピック 200m平泳ぎで 5 位入賞）、2024 年 0 月 19 日に母校でパリオリンピック帰国報告会を開催/坂出市/坂出付属中学、東洋大学卒
2019	2000.5	東山玲士	プロ野球選手（社会人野球 ENEOS を経て 2024 年ドロフト会議で投手としてオリックス・バッファローズから 5 位指名を受け入団、背番号 45、プロ入り前の最速は 151km/h を計測し、このストレートと三振を奪える決め球のチェンジアップが武器。変化球はその他にカーブ、スライダー、カットボーを投じる。）/坂出市/川津小学校、坂出中学校、同志社大卒
2021（令和 3 年）		丸高野球部 特別講演「‘90 夏　伝説のベスト 8 の舞台裏」	コロナ禍のためオンライン中継で実施。選手を代表して、キャップテン田尾克顕、ピッチャー福家武が挨拶し、搆口（かまいぐち）監督のインタビューや座談会で盛り上がる（山本浩樹部長、山本康史、渡辺隆選手他）
2022		**ワンダーフォーゲル部女子 4 人、総体で準優勝**	高校総体の登山競技女子部門で準優勝、優勝した長崎北陽台高とは 0.1 点（100 点満点）の僅差であった。（部内で選ばれた 4 人が出場し、テント設営の審査や天気図作成などの筆記試験、タイムレースを含む登山行動など、多岐にわたる項目を競う）
2023		**創立 130 周年記念行事**	・百三十周年記念誌『亀城のほとり』を発刊
2023		須崎遥也	走高跳選手（2022 年の高校ランキング一位の 2 メートル 11 センチの記録を持つ）、第 58 回東京六大学陸上競技大会において 2 メートル 3 センチの記録で優勝/？/慶応大在学中

丸亀高校同窓会会員名簿、丸亀高校ホームページ、丸亀高校各種同窓会資料、「ビジネス香川」、ウイキペディア等によります。全体にネット検索出来ることを基本にしています。一部はご本人に確認の上記載しています。
なお、歴代校長は丸高ホームページでご覧になれます。
以上